

ひいおばあちゃんの青いすず

福井県 平章小学校 2年 宮守 麻理香

わたしのにぎった手の中には、青いすずが入っています。

「ひいおばあちゃん、きたよ。」

ひいおばあちゃんのろう人ホームにしんせきの人たちといっしょにお見まいに行きました。ひいおばあちゃんは車いすにのっていて、うまくお話しすることもできません。

でも、わたしのかおを見ると、とてもうれしそうで、おいでおいでをしてくれます。わたしもうれしくて、すぐ近くにいて手をにぎりました。そうしたら、ひいおばあちゃんはおやつをくれました。

「あー、あー。」

と、なにを言っているかはわからないけど、わたしは、

「ありがとう。うれしい。」

と言いました。ひいおばあちゃんは、なん回もうなずいてうれしそうでした。おばあちゃんがわたしに、

「みんながあいにきてくれただけでうれしいんや、またこようね。」

と言いました。わたしも、だれもきてくれなかったらかなしいなあと思うと、またぜったいこようと思いました。

そして、わたしはずっと前から、ひいおばあちゃんの車いすに青いすずをつけてあげたいなあと思っていました。どうしてかと言うと、車いすは色がくろで、わたしのすきな青色があったらすてきになるかなあと思ったからです。

でも、ひもがみじかくて、うまくすずがつけられませんでした。わたしがなきそうになっていると、おにいちゃんが、

「どうしたんや。もち手にすずつけたいんか、まかせとけ。」

と言って、きれいにむすんでくれました。わたしは、とってもうれしくて、

「ありがとう。ひいおばあちゃんにプレゼントするの。」

と言うと、おにいちゃんも、

「うん。よろこんでくれると思うわ。」

と言ってくれました。

ひいおばあちゃんは、すずを見るとないてしまいました。わたしは、いやだったのかなあと思ったけど、おばあちゃんが、

「うれしくてないているんやで。いいことしたね。」

と言ってくれたので、うれしくなりました。そしてわたしは、

「すずはわたしからで、つけたのはおにいちゃんやよ。」

と言うと、ひいおばあちゃんは、わたしとおにいちゃんの頭を思いっきりなでてくれました。

すずも、ひいおばあちゃんの車いすでりんりんとわらっているようです。しんせつって、きっと人をうれしくさせるから、これからはみんなにしんせつにしようと思いました。